

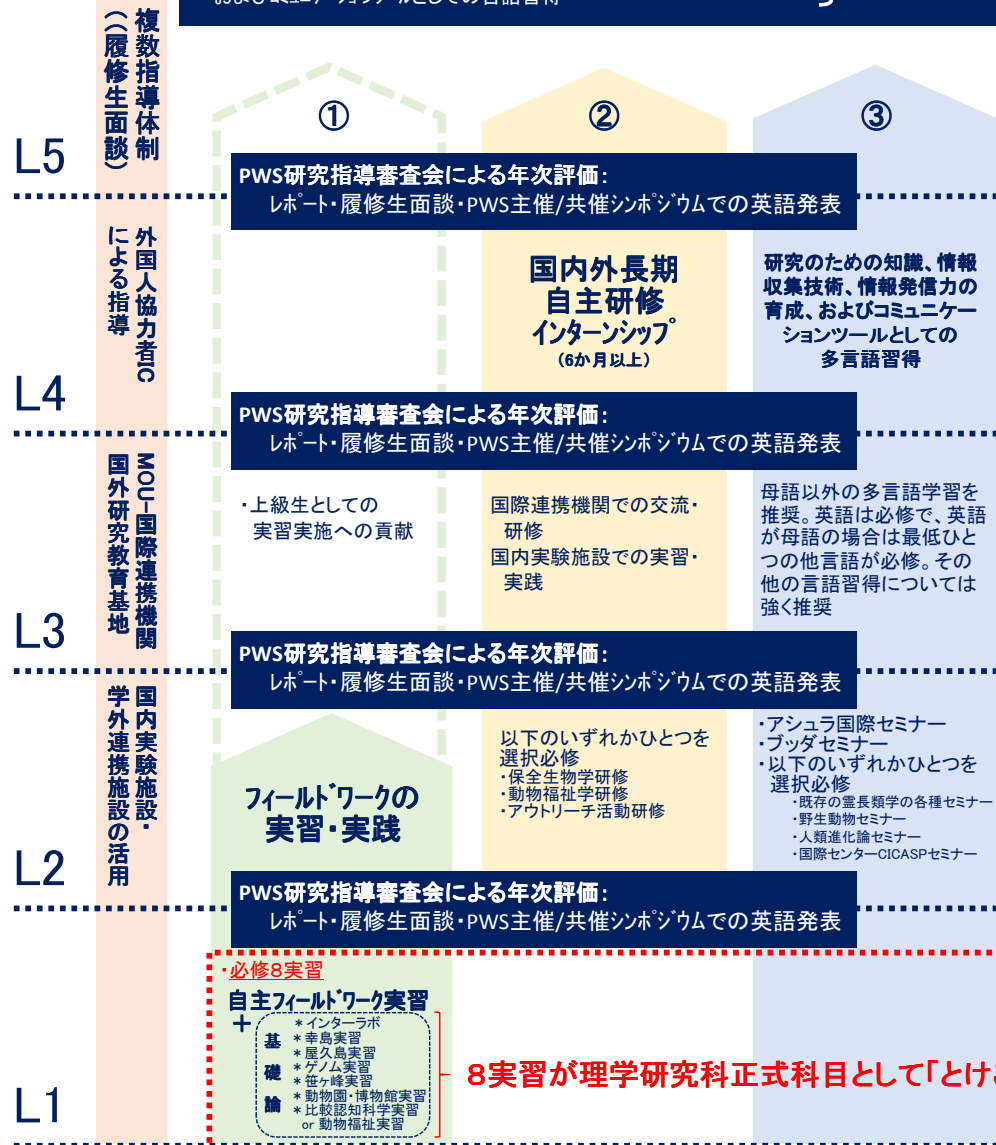


2019年度
 以前
 入学者

PWS修了審査委員会：プログラムの修了を審査

- ① 修士課程相当の必修8実習の履修・上級生としての実習実施への貢献
- ② 博士課程相当の6か月以上の国内外長期自主研修インターンシップ
- ③ 研究のための知識・情報収集技術・情報発信力の獲得
 およびコミュニケーションツールとしての言語習得

+ 面談
 シンポジウム発表

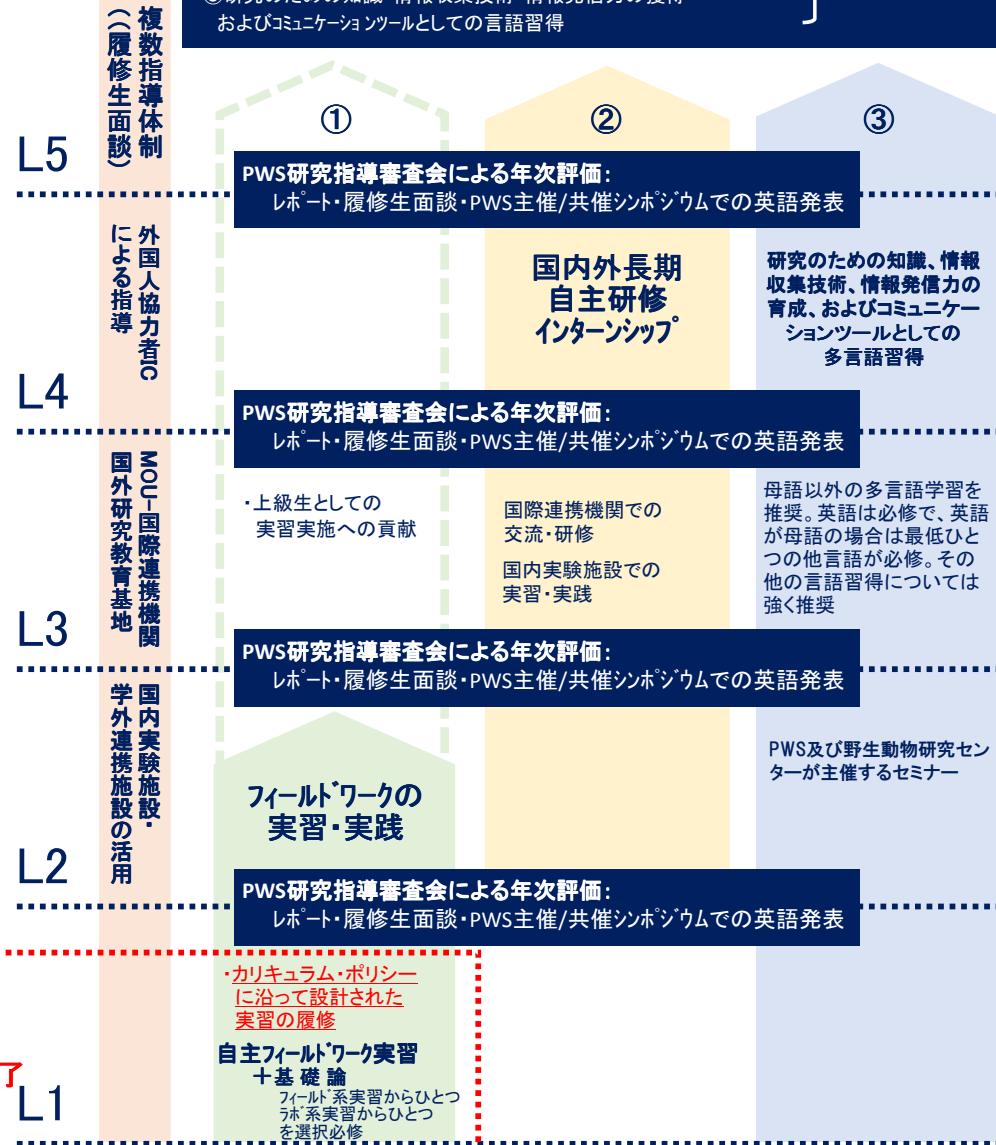


2020年度
 以降
 入学者

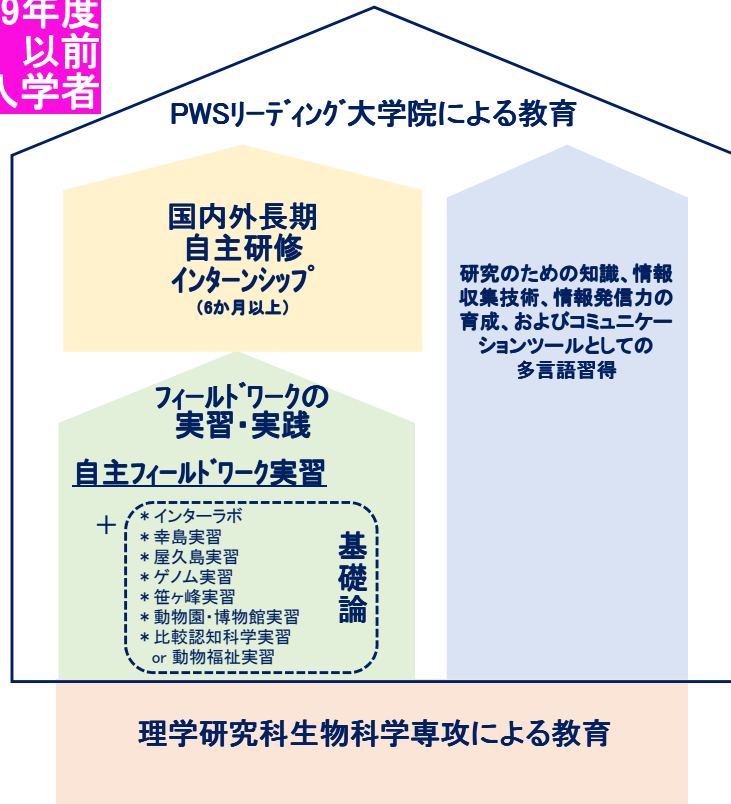
PWS修了審査委員会：プログラムの修了を審査

- ① カリキュラム・ポリシーに沿って設計された実習の履修
 ・上級生としての実習実施への貢献
- ② 博士課程相当の国内外長期自主研修インターンシップ
- ③ 研究のための知識・情報収集技術・情報発信力の獲得
 およびコミュニケーションツールとしての言語習得

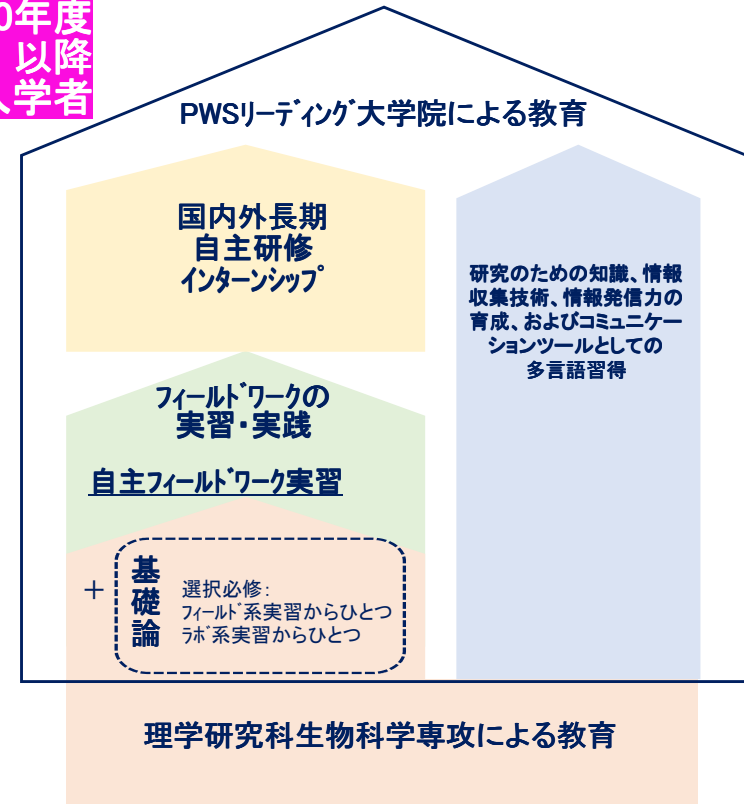
+ 面談
 シンポジウム発表



2019年度
 以前
 入学者



2020年度
 以降
 入学者



とけこみ

PWS = 1研究科1専攻(理学研究科生物科学専攻)の学生のみが対象／付記型学位

- ・学生が選択できる科目数に変更なし
- ・在籍研究科と協働したカリキュラム提供

基礎論の実習は、すべて理学研究科の正式科目である。基礎論の理学への移行が完了するタイミングで、改めて理学と実習内容の質/量について確認をおこなった。質/量ともに変更はない。

- ・基礎論の必修数減への対応: 月次の履修生面談(在籍研究科指導教員・プログラム指導教員)

オーダーメイドの自主フィールドワーク実習(詳細別紙)を、プログラム開始当初からメインとして重視している。「基礎論の8実習の内容が重複している」「基礎論の実施時期と、自主フィールドワーク実習の適合時期(繁殖期など)が重複している」という履修生およびプログラム教員の意見を受けて、基礎論については、履修生面談で各人の能力を検証しながら選択必修できるようにした。各人の能力に応じて追加履修させる。基礎論の必修数は減っているが、自主FW実習実施に至る能力を担保するシステム(=履修生面談)がすでに機能している。